

KORIYAMA WEEKLY REPORT 2021-2022

ROTARY CLUB

国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992) <http://k-rc.main.jp/>

Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第10回 2021年10月28日

会長挨拶

福島佳之 会長



皆さん、おはんでございます。やっとコロナも落ち着いて皆さんと親睦を図られる機会が増えるということに非常に感謝致しております。今日は郡山RC再発会例会の記念日となります。昭和25年10月22日が再発会の日ですが、それに一番近い例会日を夜の例会に変更して、再発会の記念日例会にするというお話が代々伝わっております、今年は、予定通りの今日の日付にしましたが、再発会の日付が昭和25年10月22日、そしてRIから承認を受けて復帰したのが10月30日です。この間をとった28日が良い日かなということで設営させて頂きました。この郡山RCの旗の認証番号が世界で3992番目に認証を受けたというお話が載っておりますが、実を言いますと遠藤安一郎大先輩の卓話集をめくっていたらこんな文章がありました。「3992番目のクラブということになってますが、そうではなくて新しいクラブなので古い番号が欲しいということで、欠番を頂いた」ということでした。果たして欠番を度外視して、郡山RCは真つ当な番号だったら何番なのかなという気はしますが、戦後再発会して直後にできた東京RC、大阪RC以下順次再発会していくわけですが、郡山はRCの資料によりますと日本で31番目に再発会を果たしたクラブだそうです。東北では3番目、1番目が仙台で2番目が盛岡、そしてその次が郡山RCです。チャーターナイトは昭和26年6月1日に開かれたそうですが、翌日の6月2日が福島RCのチャーターナイトだったそうです。郡山RCが県内で一番古いRCなので、福島RCのスポンサークラブは当然郡山がやるべきだというお話があるようですが、諸事情があって郡山RCはそれを辞退して、仙台RCにお願いしたという経緯もあるそうです。その諸事情はいずれどなたか大先輩にお話を聞きたいなと思っておりますが、今日は皆さんで懇親を深めて、ロータリーに思いを馳せて頂ける夜にして頂ければと思います。

卓話者の紹介

福島佳之 会長



ロータリー再発会記念日例会の記念卓話を新城義雄さんをお願いしております。宜しくお願いします。

ロータリー再発会 記念日例会卓話

新城義雄君



郡山RCのメンバーは、皆さん素晴らしい人です。業界の代表者であります。知識もあります。経済力もあります。ポリシーもあります。そういう人達の集まりなんです。主にRCはそういう人の集まりであります。個性もあります。ですから、これを纏めるのは非常に難しいんです。会長さんは大変なんです。それも会長さんは1年毎に変わりますから。よそのクラブでは町長選挙があった時、2つに分かれたんです。そうしたらそのクラブで負けた方が退会したという、そういうクラブもあるんですよ。非常にそれはおかしいんじゃないかと、ロータリーは選挙じゃないんだよ、政治は持ち出さないんですよということが浸透してなかったようですね。郡山RCはここ約25年、会員増強の仕事はそんなないんですよ。しなくてもどんどん入って来て100名を超す東北一のクラブがずっと続いているん

米山功労者第6回マルチプル

石黒秀司君



幹事報告

阿部充宏 幹事

今年の地区大会は、7日にオンラインで開催ということになりましたので、11月11日は夜の例会になります。皆さん、ご出席の程宜しくお願い致します。



ニコニコBOX委員会報告

阿部和博 委員

◎久し振りの夜の例会です。再発会例会を皆さんで楽しみましょう。

福島佳之君

◎再発会例会を祝って。

阿部充宏君

◎今週2日間、ロータリー日本財団千理事長に御来郡頂き、東北各地のロータリアンの皆様と御一緒させてもらい、大変勉強になりました。アネクスの皆様にも感謝致します。ありがとうございました。

福内浩明君

◎結婚お祝い、ありがとうございます。再発会記念日例会、宜しくお願いします。

丸山 弘君

◎郡山RC再発会をお祝いして。

池田達哉君、菅野秀士君、菅野秀士君、高橋孝行君



です。これは何だろうと考えたんですが、私の個人の意見です。寛容な心を歴代会長さん、郡山RCを作られた先輩方の教えが形として、言葉としてではなく、雰囲気として残っているんですね。寛容であるということ、即ち他人を許すことのできる大きな心、それは国際ロータリーもそうだったんですが、1923年に理論派と行動派の2つに分裂しそうなったんです。その時あるクラブの方が「ロータリーは超我なんだ、自分を超えたものの上にRCがあるんだ。そしてその心の中は寛容なのだ」ということを発表して、23-34決議というのがいまだに尊重されているんです。郡山RCはずっと素晴らしいクラブであります。遡って創立を考えますと、昭和11年強力なリーダーシップの下に、橋本萬右衛門さん、そして米山さんのご協力により福島県もちろん東北一のクラブができ上がったのであります。その時、3992番目のクラブであるということでの番号を頂いております。これは福島の阿久津バスターガバナーがきちんと調べて私に「この番号は大切なんだよ」と言っておりました。福島県で番号を持っているのは2つしかないんです。ですからこれは非常に誇らしいものであると考えます。そして昭和11年に創立しましたが、残念ながら世界大戦があり、途中で国際ロータリーから退会していたわけですが、そして24年に東京RCが再発会をされました。そして郡山RCが25年に再発会をした。その時、昔のこの頂いたものを頂いた。空いているものを頂いたのではなく、それは間違いなく郡山RCが最初に頂いたものであるということであると思っております。そして残念ながら25年12月に橋本萬右衛門さんがお亡くなりになり、それから民主的な形

に日本がなって参りまして、新しいRCを太田辰雄先生、平松さん、金子さん、作田さん、その方々が郡山RCを作り上げて、こういう良い組織は是非県内に普及させよということで、どんどん普及をさせていったんです。それで郡山RCはどういうクラブにするんだということを言ったんですが、その時丁度ゴルフが輸入されて来たんですよ。ゴルフというのは紳士のスポーツだ。それじゃ郡山RCを紳士のRCにしようというような雰囲気になった。それでは紳士とは何ですかという話になってきた。紳士とはまず謙虚でなければならない。それから20年ぐらい過ぎてからバトガバナーの宮森さんは「地位の高い人はそれだけ重い責任があるんだ。その責任を全うするためにあらゆる困難に打ち勝つ気概を持ってやらなければならない。それがロータリーなんだ」と話をして頂いたんです。ですから品格を持って謙虚であるRCに進めていきたいと思います。今から30年ぐらい前、それじゃ郡山RCで前を見つめたビジョンを考えましょう、今後のRCの在り方について考えましょう、それには歴代会長もそうですがロータリー経験の豊富な方が、色々これからの郡山RCの在り方を考えていこうということでビジョン委員会というもの考えたんです。ところがビジョン委員会は正式な委員会では

ありません。なぜかという、その委員会を作ってその委員会の我を押し通すようなことになっては1年毎の会長さんにアドバイスをするのはいいんですが、それを強制することはできない、ですから正式な委員会ではなくその時の会長さんのサポート役だということがでビジョン委員会です、正式な委員会ではありません。そういうところからも謙虚さが郡山RCにはあるんじゃないかなと思います。それが私は郡山RCの本当に在り方、いわゆる超我の奉仕であると思います。

出席報告 佐藤 聡 委員長

総員/97名 出席/55名 欠席/42名
出席率/56.70% 前回修正率/61.45%
他クラブ出席/3名



次回 第12回例会
令和3年11月11日(木)

第2530地区大会慰労会
郡山ビューホテルアネックス

再発会記念日例会



会長挨拶 福島佳之 会長

再発会記念日例会、久々の夜でございます。皆様と楽しんで参りましょう。



乾杯 神山英司君

再発会は昭和25年10月です。橋本萬右衛門さんは12月に亡くなられています。その後しっかり守ってきたのは福内和介さんです。その曾孫さんが今日出席していらっしゃる。これは素敵なことだと思いませんか。再発会を楽しみましょう。乾杯。



ソングリーダー
鴨志田良明君

中締め
佐藤尚宏君

宮川包装資材(株)

代表取締役 宮川 雄次

〒963-8032 郡山市字下亀田 10-2

☎ 932-2122 FAX 923-1949

(株)ベーシックアイディーズ

代表取締役 宮川 卓也

〒963-8835 郡山市小原田 3-5-9

☎ 973-6165 FAX 973-6165